

【2023年度 事業報告】

2023年は、12万5千年で最も暑い年になり、世界中で、猛暑や熱波、干ばつ、森林火災、集中豪雨、洪水などが頻発し、甚大な被害と損害をもたらしました。パリ協定、グラスゴー気候合意のめざしている1.5°Cの気温上昇にも近づき、地球環境が後戻りのできない「ティッピングポイント」に入りつつあることも懸念されています。

この気候危機を乗り越える手段として、再生可能エネルギーの普及は不可欠です。世界では、多くの国・地域で再生可能エネルギーの普及によって、雇用を増やし、地域を活性化させて、持続可能な脱炭素に向かっていきます。ところが、国内のエネルギー政策は迷走し、先進国で唯一石炭火力発電廃止の明示がなく、火力発電での水素・アンモニアの混焼、CCS（炭素回収・貯留）の推進など、実現が不確かで経済合理性もなく気候危機対策にならない方向に進んでいます。

地域レベルでは、ようやく再生可能エネルギーを地域づくりや経済の活性化、暮らしの質向上と位置付けて普及を進めるところや、地域貢献型の新電力会社による再エネ設置や再エネ電気の販売も徐々に進みつつあります。2023年11月には「市民・地域共同発電所全国フォーラム」が京都で開催され、市民共同発電所の最新動向や再エネ普及に関する情報共有と意見交換が行われ、あらためて市民と地域のための再エネ普及の重要性が認識されました。

このような状況の中、きょうとグリーンファンドは、地域の人々や団体と連携して、情報発信や環境教育活動、支援・連携活動などを行ってきました。市民再エネプロジェクト in 京都としての連携活動による、新しいおひさま発電所設置は、その成果と言えます。さらに2ヶ所の設置に向けた準備が進みつつあります。

太陽光発電設備設置事業

2021年から設置事業は「市民再エネプロジェクト in 京都」として進めるようになり、きょうとグリーンファンドはその事務局を担っています。

2023年度は、前年度から引き続いてプロジェクトを進め、京都府宇治市にある「ウトロ平和祈念館」の工事は完了し、4月30日に点灯式、5月いっぱいプロジェクトは終了しました。

その他、京都市左京区の下鴨幼稚園での設置に向けた取り組みを進めていましたが、早い時期に京都府の補助金枠がいっぱいとなってしまう、次年度に持ち越しの状態となっています。

また、京都市南区にある吉祥院こども園からも申し込みをいただき、補助金申請をするべく準備を進めていましたが、ここも京都府の補助金枠がいっぱいとなってしまう、2024年度に補助金を申請する予定です。

プロジェクトを進めるにあたって最初で最大の課題は設置施設を見つけることです。そこで、京都市内と近隣市町の保育施設にはどの程度太陽光パネルが設置されているかを、理事、事務局と気候ネットワークの協力で、Google Mapの航空写真で調査しました。調査件数は366施設で、太陽光発電設備が設置されている施設は12%程度であることがわかりました。

2023年度はプロジェクトが次々と進みそうでしたが、会員の減少などもあって、「おひさま基金」の拠出は依然として厳しい状態です。寄付金を原資とした基金で、設置時の初期費用軽減を図り、設置後に協力をお願いする運用が回らなくなりそうでしたが、2023年度に予定していた新たなプロジェクトが進まなかったことで、辛うじてマイナスとはなりません。この「おひさま基金」の運用は、今後も大きな課題といえます。

この課題解決の一助となるべく、企業の参加者を想定した見学会を3回実施しました。

おひさまでんきプロジェクト

これまで太陽ガスと協力・連携を進めてきましたが、電気料金の値上げなどもあり「おひさまでんきプロジェクト」は停滞を余儀なくされています。しかし、再エネを拡大する課題は待ったなしです。更なる協力・連携のあり方を模索してきた一年でした。

2023年度はテラ・エナジーとの出会いもあり、寄付先団体として登録されました。

学習活動

2023年5月に新型コロナが5類に引き下げられ、少しずつコロナ前に戻ってきた感がありました。しばらく環境学習をしていなかった園にもお声がけし環境腹話術を行い、子どもたちだけでなく保護者の方々にも好評でした。環境腹話術の内容を毎年検討し、2023年度は「食品ロス」関係の絵を描いていただき、子どもたちに食の大切さを伝えました。そのほか、自然の恵みを利用することができる雨水タンクの設置を希望してくださった児童館でワークショップも行いました。おひさま発電所「発電表示盤」活用調査アンケートも行い、表示盤が非常に子どもたちの興味をひき効果的であることが分かりました。

① 環境腹話術（6件） 講師：畠山智子さん

～温暖化防止や環境への取り組みをテーマとした子ども対象のプログラム

5/19 聖光幼稚園（66人参加）

5/30 大宮保育園（78人参加）

6/29 みょうりんえん（104人参加）

7/10 陵ヶ岡こども園（110人参加）

7/19 かすがのえんこども園（111人参加）

11/27 夢窓幼稚園（142人参加）

② 自然観察会（6件） 講師：板倉豊さん、助手：岡かおるさん、江森礼奈さん

5/9 おおやけこども園/年長（京都御苑）（65人参加）

10/25 大宮保育園/年長・年中（府立植物園）（33人参加）

10/31 聖光幼稚園/年長（宝ヶ池）（32人参加）

11/2 聖光幼稚園/年中（宝ヶ池）（32人参加）

11/4 みょうりんえん/親子（京都御苑）（56人参加）

11/18 陵ヶ岡こども園/親子（京都御苑）（46人参加）

- ③ 職員研修（自然観察会）（1件） 講師：板倉豊さん
6/10 みょうりんえん（園庭）（14人参加）
- ④ 雨水タンク設置（1件） 講師：林敏秋さん
5/27 ひこばえ児童館（13人参加）
- ⑤ 環境すごろくの貸し出し（6件）
5/19 聖光幼稚園(3-1) 5/19 かすがのえん(8-2) 5/27 ひこばえ児童館(9-2)
6/29 みょうりんえん(4-2) 11/2 聖光幼稚園(5-2) 11/27 夢窓幼稚園(6-2)
- ⑥ おひさま発電所「発電表示盤」活用調査アンケート（10件回答）

サポート活動

京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター（以下いきセン）のおひさま発電所設置後、いきセンとパートナーシップを組み、上鳥羽学区でのエコ活動をサポートしています。

コロナ禍で中断していた地域活動も少しずつもとに戻りつつありますが、地域のイベントで進めていたごみ減量の活動などは中断したままです。

また、昨年、地域住民とともに立ち上げた「上鳥羽エコまちくらぶ」では、「上鳥羽エコメイト」とともにエコ活動を進めています。特に隣接する中唐戸児童館と連携し、児童のエコ活動を支援しています。児童館の「エコの日」の活動への参加、オフグリッド時計の設置、太陽光発電の発電量及び雨水タンクの毎日の記録など、活動は広がっています。オフグリッド時計の設置では、単に設置するだけでなく、児童とともにその意義や仕組みなども学習しました。

- ・ 4月～ 絵本サークルエコ紙芝居制作に協力
- ・ 7/15 「上鳥羽エコまちくらぶ」発会のつどい
- ・ 8/19 エコ体験イベント
- ・ 9/6 中唐戸児童館オフグリッド時計設置ワークショップ
- ・ 11/11 自然観察会(上調子公園)
- ・ 11/25 エコバスツアー(南部クリーンセンターさすてな京都)参加

広報活動

- ① ニュースレター「ぐりふぁんレター」の発行（8月、2月）

- ② 印刷物作成

経費節減、ペーパーレス推進のため、印刷は、部数を減らすよう極力つとめています。

- ・ きょうとグリーンファンド活動紹介 三つ折リーフレット
- ・ ウトロ平和祈念館おひさま発電所 完成報告パンフレット
- ・ 市民共同「おひさま発電所」と太陽光パネルリサイクル工場見学会 チラシ
- ・ 市民再エネプロジェクト in 京都 チラシ

③ ホームページなど Web を活用した情報の発信

- ・活動状況・節電・省エネルギーについての情報などを会員、一般市民に向けて発信
- ・活動状況をきめ細かく発信できるようブログ、Facebook、Instagram を更新しました。
- ・メーリングリスト「きょうとグリーンファンド応援団」作成

寄付について

さまざまな形で寄付をいただきました。 総額	3,747,811 円
・既設おひさま発電所からの寄付 (5 件)	858,400 円
・一般からの寄付	2,478,700 円
・自動販売機寄付 (㈱シェアリングマネジメントサービス)	8,711 円
・ウトロ平和祈念館おひさまプロジェクト	402,000 円

補助金・助成金 (2024/2/29 現在)

・公益財団法人パブリックリソース財団 総額	99,450 円
ウトロ平和祈念館おひさまプロジェクト	90,950 円
一般	8,500 円

講演、事例報告、見学など

- ・6/11 あまっこ市民エネルギープロジェクトにて事例報告
- ・9/27 JICA 研修／活動紹介、自然幼稚園見学
- ・11/18 ウトロ平和祈念館おひさま発電所見学会
(市民共同発電所全国フォーラムエクスカージョン)
- ・1/23 ウトロ平和祈念館おひさま発電所見学会
/あまっこ市民エネルギープロジェクト

見学会実施

- ・12/2 ウトロ平和祈念館おひさま発電所見学会 (11 人参加)
- ・1/31 設置後 3 年目となる聖光幼稚園の見学 (12 人参加)
- ・2/21 設置後 7 年となる上鳥羽北部いきいき市民活動センターの見学 (6 人参加)
- ・3/6 太陽光パネルリサイクル工場見学会／近畿電電輸送(株) (22 人参加)

協力・連携

- ・認定NPO法人気候ネットワーク
- ・認定NPO法人環境市民
- ・NPO法人京都地球温暖化防止府民会議 (京都府地球温暖化防止活動推進センター)
- ・NPO法人エコネット近畿
- ・NPO法人KES環境機構
- ・一般社団法人市民エネルギー京都

- ・ 一般社団法人上鳥羽絆会
- ・ 公益財団法人パブリックリソース財団
- ・ 京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）
- ・ 京のアジェンダ21フォーラム
- ・ 京都市ごみ減量推進会議
- ・ 京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター
- ・ パワーシフト・キャンペーン
- ・ 京都市市民活動総合センター
- ・ 自然エネルギー学校・京都
- ・ **Fridays For Future Kyoto**
- ・ 国際ソロプチミスト京都ーみやこ・わかば
- ・ **SoftBank**つながる募金
- ・ 有限会社ひのでやエコライフ研究所
- ・ 株式会社シェアリングマネジメントサービス
- ・ ネオス株式会社
- ・ 太陽ガス株式会社（代理店：Happy Energy）
- ・ テラエナジー株式会社

以上の団体と協力、連携しました。